

# 益田・都茂の若者グループ「もてつも」



ユニークな衣装で来場者をもてなす「もてつも」の広兼重孝代表（右から2人目）らメンバーたち

## おもてなしで地域活性化 発足から1年 存在感高める

益田市美都町都茂地区の20〜40代の若者グループ「もてなす都茂心」（もてつも）が、地域を「おもてなし」の心で盛り上げる活動を活性化させている。途絶えかけていた地元の神社の行事に加わったり、ユニークな姿で地域イベントに参加したりして来場者たちを楽しませ、発足から約1年で存在感を高めている。（古瀬弘治）

### イベントなど積極参加

もてつもは、若者が流出し、寂しくなっていく都茂地区を元気にしようと、2018年2月に若者有志で結成した。約20人が所属し、地区内の11自治会長たちと話し合い、「おもてなし」をキーワードに、地域課題の解決への協力などに向けて活動を始めた。

18年10月には、地元の神社の祭りを、餅をまきながら盛り上げる行事「仁輪加加勢」に参加した。後継者不足で取りやめ寸前だったというが、もてつものメンバーが自作のみこしを担いで練り歩き、祭りのにぎわいに花を添えて存続の機運を高めた。

19年3月末にあった金谷城山桜まつりでも、駐車場係などイベント運営や、特産のユズを使った飲料の販売などで一役買った。メンバー約10人が、赤い全身タイツに法被を着用したユニークな姿で地域住民や来場

者をもてなし、盛り上げに一役買った。同まつりを主導する山本五五会（55）の李原邦政会長（65）は「運営は人手がなくて難しいが、若者たちの活動は地域にとっても励みになる」と喜んだ。

もてつもの広兼重孝代表（33）は「この地域を残したいという危機感から立ち上がった。活動を通して、都茂に興味を持ってほしい」と意気込んだ。

## グラントワ入館500万人



予定より2年早  
出雲の夫

益田市有明町の県芸術文化センター・グラントワの入館者数が8日、500万人に到達し、節目の入館者となった出雲市斐川町出西の農業小原裕輔さん（42）に花束と記念品が贈られた。2005年10月の開館以来、

写真 林に捨雄、前か、など、一環、本北、原探